



C2C カーシェア事業者向け 1 日自動車保険「ワンデーサポーター」の提供開始

2019年9月20日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、今後更なる発展が見込まれるカーシェアリングのうち、C2C カーシェアリング※1のプラットフォームを運営する事業者に向けて1日自動車保険「ワンデーサポーター」を提供します。

※1…C2C カーシェアリングとは、会員登録している利用者同士が個人所有の車を貸し借りするサービスです。

1. 背景

昨今、変革の時代を迎えている自動車産業の動向を象徴するキーワードである「CASE※2」に対し、当社では安全・安心なモビリティサービスの実現に向け、様々な保険商品の開発や実証実験に取り組んでいます。

上記取組のなかで、今回、成長著しいC2C カーシェアリングにおいて、ドライバーの保険の加入漏れなどを防止し、安全・安心なプラットフォーム運営の実現に寄与するため、カーシェア事業者へのワンデーサポーターの提供を開始しました。

※2… CASE は、Connected (コネクテッド)、Autonomous (自動運転)、Shared & Services (カーシェアリングとサービス/シェアリングのみを指す場合もある)、Electric (電気自動車) の頭文字をとった造語です。

2. 取組概要

今回、C2C カーシェア事業者が運営するプラットフォームを通じて、オーナーと共同で車を使用するドライバーに対し、簡便にワンデーサポーターを提供する仕組みを構築しました。

現行のワンデーサポーターは、当社専用サイトからの加入に限定していましたが、今回 C2C カーシェア事業者が運営するプラットフォームから直接保険の加入手続きができるようになり、C2C カーシェア事業者やドライバーの保険加入手続きを極小化し、併せてドライバーの保険の加入漏れを防ぐことが期待されます。

3. 今後の展望

今後、C2C カーシェア事業者やドライバーのニーズに応じた保険商品の開発、より利便性の高い加入手続きを実現するシステム構築などの検討を進めます。加えて、C2C カーシェアリングは、運転歴の浅い若年層での普及・利用が見込まれるため、運転技術のスコアリング化や事故防止サービスの開発も検討していきます。

また C2C カーシェアリングに止まらず、変化の著しい「CASE」への対応を強化し、安全・安心なモビリティサービスの発展に寄与します。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

主に貢献している SDG s 目標

